

モンカットフロアブル40

[フルトラニル水和剤]

農林水産省登録 第19252号

有効成分 フルトラニル…40.0%

性状 類白色水和性粘稠懸濁液体

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：5年 包装：
500ml×20 RACコード：殺菌[7]

特長

- ばれいしょ、てんさい、野菜などのリゾクトニア菌病害に優れた効果を示す。
- 作物への浸透移行性を有するため、耐雨性に優れるとともに安定した防除効果が長期間持続する。
- フロアブル製剤であり作物に対する汚れが少ない。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- カラー、花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しない。また、使用后14日間は入水しない。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 本剤を散布する場合は、散布液の飛散によって自動車の塗装等に被害を生じるおそれがあるので注意する。
- てんさいに希釈倍数250倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を用いて葉面に均一に散布する。
- ばれいしょの種いもに処理する場合、所定濃度の薬液で種いも浸漬又は散布し、風乾後植付ける。
- ばれいしょの種いもに希釈倍数20倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを用いて均一に散布する。
- 畑わさびの植替時に使用する場合は、苗を育苗箱又はセル成型育苗トレイ等に植え替えた後に、灌注する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 使用の際は不浸透性手袋等を着用する。作業後は洗眼する。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用后(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルトラニルを含む農薬の総使用回数		
稲	紋枯病	2000倍	60~150ℓ/10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	4回以内		
キャベツ	株腐病			収穫7日前まで			7回以内 (種子粉衣は1回以内、定植前の土壌混和は2回以内、散布は4回以内)		
しょうが	紋枯病			収穫3日前まで			6回以内		
葉しょうが				4回以内			5回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内)		
レタス	すそ枯病	1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	5回以内 (種子粉衣は1回以内、定植前の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)		
	白絹病	2000倍							
非結球レタス	すそ枯病	1000~2000倍		4回以内	土寄せ時 但し、収穫30日前まで		4回以内	株元散布	6回以内 (種子粉衣は1回以内、定植前の土壌混和は1回以内、散布は4回以内)
	白絹病	2000倍							収穫30日前まで
ねぎ	オオシロカラカサタケ		2000倍	3ℓ/m ²	収穫3日前まで	3回以内	土壌灌注	3回以内	
みょうが(花穂)	紋枯病	みょうが(花穂)の収穫3日前まで 但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで							
みょうが(茎葉)	2000倍	1000~2000倍	3ℓ/m ²	は種時~子葉展開時	1回	土壌灌注	2回以内 (種子粉衣は1回以内、土壌灌注は1回以内)		
きゅうり トマト				育苗枯病 (リゾクトニア菌)	収穫30日前まで		2回以内	灌注	3回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は2回以内)
畑わさび	育苗枯症 (リゾクトニア菌)	2000倍	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り0.5ℓ	は種時~育苗期前半					
			セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5~4ℓ) 当り0.5ℓ	植替時					
				は種時~育苗期前半					
				植替時					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルトラニルを含む農薬の総使用回数
にら	白絹病	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	1回	株元散布	2回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は1回以内)
にら(花茎)				収穫前日まで	2回以内		3回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は2回以内)
ししとう		1000倍	1ℓ/株		3回以内	株元灌注	4回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は3回以内)
ばれいしょ	黒あざ病	100～200倍	—	植付前	1回	瞬時～10分間 種いも浸漬	1回
		20倍	種いも 100kg当り200～300mℓ			散布	
てんさい	葉腐病	250倍	25ℓ/10a	収穫7日前まで	5回以内		7回以内 (種子粉衣は1回以内、 定植前の灌注は1回以内、 散布は5回以内)
	葉腐病 根腐病	1000倍	100～300ℓ /10a				
	根腐病	200倍	ペーパーポット 1冊当り1ℓ (3ℓ/ ㎡)	定植前	1回	灌注	
とうもろこし	紋枯病	2000倍	100～300ℓ /10a	収穫3日前まで		散布	3回以内
花き類・ 観葉植物	白絹病	1000～ 2000倍	100～300ℓ /10a	—	3回以内	株元散布	
樹木類		くもの巣病	1000倍	3ℓ/㎡		発病初期	
	200～700ℓ/10a						
えぞまつ (苗木) とどまつ (苗木)	苗木枯病 (リゾクトニア菌)		3ℓ/㎡	発芽後 (発病初期)			苗木兼 全面土壌散 布

製品写真



最新の登録内容はこちら

